

令和4年度 第2回 鯖江警察署協議会 開催結果

1 日時

令和4年8月30日（火）午後2時から

2 場所

鯖江警察署

3 出席者

鯖江協議会委員 7名

鯖江警察署 署長以下 10名

4 議事

- (1) 警察署長挨拶
- (2) 協議会会長挨拶
- (3) 治安情勢及び業務運営状況

ア 生活安全課

- ・ 刑法犯認知件数と総合的な対策
- ・ 子供への声掛け、つきまとい事案等の発生状況と防止対策
- ・ 特殊詐欺の認知状況と防止対策

イ 刑事課

- ・ 刑法犯の検挙状況
- ・ 本年度の主な検挙事例

ウ 交通課

- ・ 交通事故発生状況
- ・ 交通事故の特徴と傾向
- ・ 交通事故抑止対策の強化

エ 警備課

- ・ 近年の災害被害と課題
- ・ 災害対策の充実強化
- ・ 予想される大規模地震

オ 地域課

- ・ 神明交番の建替え

(4) 質疑応答

【委員】

万引きが増加した原因として、コロナ禍により生活困窮者が多くなったことが背景にあるのか。

【警察】

ドラッグストアでの万引きの検挙が増えている。

近年、鯖江市内でもドラッグストアは相当増えているが、新しくできた店舗は防犯カメラ等により万引き対策が強化されており、以前より万引きが発覚しやすいことが検挙増加の一つと考えている。



コロナ禍等の社会情勢によって、特段万引きが増加しているとは認識していない。

【委員】

交通事故の多い場所では、どのような改善を行っているのか。

【警察】

重大な交通事故は、交通量の少ない時間帯や、日没前後の薄暮時に多く発生している。

交通事故防止対策の具体的事例として、先日発生した越前町での交通死亡事故において、地元や役場の方と現場点検を行ったところ、速度規制標識がわかりにくいとの意見があり、速度規制の道路標示を増やしたり、物理的に速度抑止を図るため道路に凹凸のハンプを設置するなどの改良を行っている。

【委員】

運転技術診断装置（オブジェ）はどのようなものなのか。どの場所でも、運転診断ができるものなのか。

【警察】

運転診断を受ける方の頭や足にセンサーを付け、定められたコースを運転することで、運転に係る個別技術診断をすることができる機械である。

現段階では、鯖江警察署周辺のコースのみで対応しているが、機器の設定があることから、さまざまな場所での活用は現段階では難しい。

【委員】

神明交番は見た目では古くないと思うが、建物の中はどうなっているのか。

【警察】

神明交番は今年で築42年となり、現在の耐震基準を完全に満たしていない。

女性職員用のトイレや仮眠室も未整備であるほか、建物内部は湿気でカビや黒ずみなどが発生しており、老朽化が相当進んでいる。

【委員】

防犯カメラの設置促進については、具体的にどのような取組をしていくのか。

【警察】

鯖江市に確認したところ、本年度開始した防犯カメラ設置に対する補助事業に対し、8月末で45件の請求があり、5月に市役所及び関係団体合同で広報した後に、申請件数が格段と増えたと聞いている。

警察では、器物損壊や窃盗事件が発生した際に、当事者に対して防犯対策のため、カメラの設置の助言を行っている。また、地域警察官は巡回連絡の際に、防犯カメラ設置の有効性について広報をしている。

今後、イベント的な広報ができるのであれば企画していくが、まずは、地道



に個人宅を回って広報を推進していく。

【委員】

災害対策の充実の件で、警察署の代替施設の選定をしているとのことであるが、具体的にどのようなことを考えているのか。

【警察】

地震や風水害等、それぞれの災害によって代替施設は異なる。

風水害で河川氾濫があった場合、当署は、ハザードマップ上、約50センチメートルの浸水予測となっており、高台等への避難が必要となる。

耐震的には問題ないが、大規模地震が発生した場合に備え、代替施設を検討していく。

現在の候補地としては、公共施設を考えており、協議を開始する段階である。

今後は、他府県で行っているように、市町の施設だけでなく、学校や企業を代替施設として検討もしていく。